

業 務 資 料

立木伐採量

研究林名	実行内訳
芦生研究林	保育間伐：21.835m ³ （スギ） 風倒木処理：2.444m ³ （イタヤカエデ）
北海道研究林	間伐：950.995m ³ （カラマツ・グイマツF1） 14.040m ³ （グイマツF1） 研究資材：4.032m ³ （ヤチダモ外4種）
上賀茂試験地	虫害枯損木：48.232m ³ （マツ類） 44.710m ³ （カシ・ナラ類） 被害木：4.153m ³ （スラッシュマツ外N） 危険木：43.446m ³ （ヒノキ外L）
徳山試験地	虫害枯損木：0.950m ³ （マツ類） 被害木：34.268m ³ （スギ・ヒノキ）
計	間伐：986.870m ³ 被害木：134.757m ³ その他：47.478m ³

研究林収入

研究林名	区分	樹種	数量	金額	備考
芦生研究林	素材	イタヤカエデ	0.772m ³	5,000円	風倒木処分
北海道研究林	立木 立木 素材	広葉樹 ヤチダモ外 カラマツ	27本 93本 387.413m ³	16,982円 25,009円 2,866,500円	立木補償 立木補償（外14種） 間伐（標茶区）
徳山試験地	立木	アカマツ外	495本	101,300円	立木補償（コナラ外）
計				3,014,791円	

育林総括表

研究林名	実行内訳
芦生研究林	保育間伐：(直) 0.24ha (スギ) 見本林維持：9.77ha
北海道研究林 標茶区	更新：改植(直) 0.99ha 地拵(請) 0.82ha 下刈：(直) 0.99ha (坪刈) 蔓切・除伐：(直) 0.14ha (造林地) 除伐：(請) 0.60ha 枝打：(直) 2.16ha 間伐：(請) 16.99ha (カラマツ) (直) 0.31ha (グイマツF1) 見本林維持：6.24ha
白糠区	更新：改植(直) 0.25ha 蔓切：(直) 3.90ha (造林地)、(請) 7.00ha (天然林) 除伐：(直) 0.97ha 見本林維持：1.87ha
和歌山研究林	除伐：(直) 0.32ha (ミズメ) (地域開放事業) 見本林維持：1.93ha
上賀茂試験地	下刈：(請) 1.70ha (外国産マツ) 獣害防除ネット管理：(直) 1,105m (100m張替) 見本林維持：1.72ha (草刈)：(直) 延べ2.62ha (請) 延べ1.68ha) 苗畑維持：(直) 267m ²
徳山試験地	下刈：(請) 延べ2.90ha (マツ外4種) 除伐：(直) 0.30ha (ヒノキ) 蔓切：(直) 1.00ha (天然林) 見本林維持：1.86ha 苗畑維持：(直) 0.41ha
北白川試験地	見本林維持：0.93ha (草刈)：(請) 0.15ha×8回) 苗畑維持：0.32ha

林道総括表

研究林名	実行内訳
芦生研究林	車道維持：34,238m 作業道維持：2,344m 作業道新設：80m 歩道維持：30,000m 軌道維持：2,200m
北海道研究林 標茶区	車道維持：24,358m 作業道維持：11,900m 歩道維持：991m
白糠区	車道維持：15,421m 作業道維持：200m 歩道維持：1,305m
和歌山研究林	車道維持：8,493m 車道新設：76m 作業道維持：2,264m 歩道維持：①④⑨林班
上賀茂試験地	車道維持：6,211m 作業道維持：150m 歩道維持：9,916m
徳山試験地	車道維持：800m 作業道維持：1,790m 歩道維持：6,908m

林種・林相別・面積・蓄積集計表

(平成23年4月1日現在)

研究林名	所在地	(蓄積 m ³) 面積 ha	人工林				天然林				その他
			針葉樹林	針広混交林	広葉樹林	計	針葉樹林	針広混交林	広葉樹林	計	
芦生研究林	京都府南丹市	(694, 330)	(69, 928)		(291)	(70, 219)	(40, 718)	(340, 328)	(243, 065)	(624, 111)	319.67
	美山町芦生	4, 185.55	244.15		2.72	246.87	218.06	1, 871.54	1, 529.41	3, 619.01	
北海道研究林		(267, 147)	(80, 861)	(13, 818)	(895)	(95, 574)		(11, 358)	(160, 215)	(171, 573)	59.61
		2, 327.14	435.12	88.66	13.24	537.02		91.74	1, 638.77	1, 730.51	
標茶区	北海道川上郡	(162, 568)	(69, 935)	(5, 580)	(893)	(76, 408)			(86, 160)	(86, 160)	38.74
	標茶町多和	1, 446.77	367.27	43.41	12.23	422.91			985.12	985.12	
白糠区	北海道白糠郡	(104, 579)	(10, 926)	(8, 238)	(2)	(19, 166)		(11, 358)	(74, 055)	(85, 413)	20.87
	白糠町和天別	880.37	67.85	45.25	1.01	114.11		91.74	653.65	745.39	
和歌山研究林	和歌山県有田郡	(329, 081)	(249, 299)		(61)	(249, 360)	(12, 922)	(34, 869)	(31, 930)	(79, 721)	110.83
	有田川町上湯川	842.00	410.20		2.42	412.62	29.30	130.43	158.82	318.55	
上賀茂試験地	京都市北区	(12, 981)	(2, 358)	(514)	(116)	(2, 988)	(6, 127)	(3, 703)	(163)	(9, 993)	3.34
	上賀茂本山	46.84	9.73	2.30	0.95	12.98	15.69	14.38	0.45	30.52	
徳山試験地	山口県周南市	(14, 598)	(8, 841)	(128)	(177)	(9, 146)			(5, 452)	(5, 452)	2.73
	徳山鉢窪	41.85	17.24	0.52	2.81	20.57			18.55	18.55	
北白川試験地	京都市左京区	(222)		(222)		(222)					0.71
	北白川追分町	1.40		0.69		0.69					
合 計		(1, 318, 359)	(411, 287)	(14, 682)	(1, 540)	(427, 509)	(59, 767)	(390, 258)	(440, 825)	(890, 850)	496.89
		7, 444.78	1, 116.44	92.17	22.14	1, 230.75	263.05	2, 108.09	3, 346.00	5, 717.14	

林道の現況

(平成23年3月31日現在)

研究林名	車道延長	作業道延長	合計	林道密度
芦生研究林	34,238 m	2,544 m	36,782 m	9.5 m/ha
北海道研究林(標茶区)	24,358 m	23,031 m	47,389 m	33.6 m/ha
”(白糠区)	15,421 m	1,814 m	17,235 m	20.1 m/ha
和歌山研究林	8,569 m	2,264 m	10,833 m	14.8 m/ha
上賀茂試験地	6,211 m	565 m	6,776 m	155.8 m/ha
徳山試験地	800 m	1,790 m	2,590 m	66.2 m/ha

利用状況総括表

研究林別利用者数 (延人数)

研究林名	教育利用		研究利用		公開講座等	一般利用	合計
	教職員等	学生	教職員等	学生			
芦生研究林	1,397	766	848	1,230	166	6,132	10,539
北海道研究林	329	415	579	18	36	156	1,533
（標茶区）	(283)	(321)	(465)	(10)	(16)	(64)	(1,159)
（白糠区）	(46)	(94)	(114)	(8)	(20)	(92)	(374)
和歌山研究林	334	5	312	207	0	15	873
上賀茂試験地	168	723	407	323	71	608	2,300
徳山試験地	111	40	14	4	0	44	213
北白川試験地	36	160	549	1,027	0	83	1,855
計	2,375	2,109	2,709	2,809	273	7,038	17,313

利用区分別利用者数 (延人数)

利用区分		京都大学		他大学	他機関	一般	計
		農学部	他学部等				
教育利用	教職員等	889	32	107	372	975	2,375
	学生	1,399	316	394	—	—	2,109
公開講座	—	109	0	0	0	164	273
研究利用	教職員等	1,686	240	279	68	436	2,709
	学生	2,004	424	381	—	—	2,809
その他の利用（見学等）		36	19	29	194	6,760	7,038
計		6,123	1,031	1,190	634	8,335	17,313

*）農学部にはフィールド科学教育研究センターを含む

学生実習等

科目名	学科等(学年・対象者)	期間
芦生研究林(1)		
へびの採集法の講習会	京都大学理学研究科	10.04.29 - 10.04.30
京都大学野生生物研究会(野生生物観察研修)	京都大学野生生物研究会	10.05.01 - 10.05.03
自然観察、自然体験、環境教育	NPO法人芦生自然学校	10.05.02 - 10.11.28
トロッコ道ハイキング	南丹市美山山村留学センター	10.05.09
芦生原生林の自然観察会	NPO法人シニア自然大学	10.05.12 - 10.05.14
少人数セミナー:豊かな森をめざして!	京都大学(全学1回生)	10.05.20 - 10.05.21
芦生研究林における木材腐朽菌による劣化調査	京都大学生存圏研究所	10.05.28
職員福利厚生事業(研究林における現地研修)	京丹波町役場職員互助会	10.05.29
「第5回エコの寺子屋」の実施	NPO法人エコロジー・カフェ	10.05.29 - 10.05.30
芦生研究林における樹種の分布と地形・地質条件との関係	東京学芸大学	10.05.30
環境学習会	地井振興会	10.06.14
アジア・アフリカ地域研究演習	アジア・アフリカ地域研究研究科 (修士課程1回生)	10.06.26 - 10.06.27
生物圏情報学セミナー	京都大学情報学研究科社会情報学専攻 (修士課程・博士課程)	10.06.19 - 10.06.20
少人数セミナー:原生的な森林の働き	京都大学(全学1回生)	10.07.03 - 10.07.05
美山町第4学年合同自然体験教室「美山っ子グリーンワールド」	南丹市立鶴ヶ岡小学校	10.07.27 -
日本海側の森林の潜在的植生の観察とシカによる食害が植生に与える影響の把握	石川県立大学生物資源環境学部	10.08.01
学校設定科目「環境論」	大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎	10.08.09 - 10.08.10
森里海連環学実習ⅠA	京都大学(全学全回生)	10.08.08 - 10.08.09
少人数セミナー:環境の評価	京都大学(全学1回生)	10.08.10 - 10.08.11
大学等地域開放特別事業 森林体験学習	和歌山県立有田中央高等学校清水分校 (1年生)	10.08.24 - 10.08.25
ブナ(<i>Fagus crenata</i>)の葉面積の地理的変異に関する展示作成	十日町市立里山科学館 越後松之山 「森の学校」キョロロ	10.08.29
研究林実習Ⅰ	京都大学農学研究科森林科学科 (2年生)	10.08.30 - 10.09.03
公開森林実習	全国の大学生	10.09.06 - 10.09.08
総合的な学習	京都市立葛野小学校	10.09.10
研究林実習Ⅱ	京都大学農学研究科森林科学科 (3年生)	10.09.15 - 10.09.18
森林利用学実習及び実習法	京都大学農学研究科森林科学科 (3年生)	10.09.27 - 10.09.30
天然林の見学と実習	京都大学生存圏研究所循環材料創成分野	10.09.29
「こどもといのち」こども狩猟採集学入門:自然と地域とこども	京都造形芸術大学こども芸術学科	10.10.09 - 10.10.11

科 目 名	学 科 等 (学 年・対象者)	期 間
芦生研究林(2)		
総合的な学習(自然のすばらしさと雄大さを感じ取り、自然を大切に環境を守る)	京都市立大枝小学校	10.10.14
最先端科学の体験型学習講座	京都大学理学研究科附属天文台	10.10.16 - 10.10.17
自然観察会	社団法人びわ湖高島観光協会(一般)	10.10.20 - 10.10.27
中四国近畿演習林協議会 平成22年度中国・四国・近畿地区大学附属演習林技術職員研修	中国四国近畿地区の大学 全国大学演習林等(技術職員)	10.10.25 - 10.10.28
環境科学基礎	京都府立北桑田高等学校森林リサーチ科	10.10.29
「自然科学研究」ブナ葉緑体DNAの分析、ブナ林の生態調査	兵庫県立尼崎小田高等学校	10.10.31
応用植物学専門演習	神戸大学農学部	10.11.04 - 10.11.05
The Japanese Garden Intensive Seminar	京都造形芸術大学日本庭園・歴史遺産研究センター	10.11.05
由良川地域連携講座のための見学	京都大学フィールド科学教育研究センター	10.12.03
暖地性積雪地域における冬の自然環境	京都大学(全学全回生)	11.02.10 - 11.02.13
異なる森林の植生比較	京都大学農学部森林科学科	11.03.07 - 11.03.08

北海道研究林

遠足(郷土の自然に親しみ理解を深める)	標茶町立標茶小学校(3年生)	10.05.21
木工教室(図工)	標茶町立沼幌小学校(全学年)	10.06.22
研究林実習Ⅲ 夏の北海道・北海道東部の人と自然	京都大学(全学全回生)	10.08.29 - 10.09.05
森里海連環学実習C	京都大学(全学全回生)、北海道大学	10.09.09 - 10.09.12
平成22年度ジュニアリーダー養成講座「しべちャアドベンチャースクール」 第4講座(秋の森林学習)	標茶町教育委員会社会教育課 (小・中・高校生)	10.11.06 - 10.11.07
平成22年度「しべちャアドベンチャースクール」 第5講座(冬の雪山活動)	標茶町教育委員会社会教育課 (小・中・高校生)	11.01.22 - 11.01.23
研究林実習Ⅳ 冬の北海道 北海道東部の厳冬の自然環境	京都大学(全学全回生)	11.02.20 - 11.02.28

和歌山研究林(1)

ウッズサイエンス	和歌山県立有田中央高等学校清水分校 (3年生)	10.04.20 - 10.12.07
総合的な学習の時間「SIMIZUタイム」 (森林ウォーク)	和歌山県立有田中央高等学校清水分校 (1年生)	10.05.12
総合的な学習の時間「森は友だち森林の町清水」	有田川町立八幡小学校(5年生)	10.06.04
総合的な学習の時間	有田川町立白馬中学校(1年生)	10.08.31

科目名	学科等(学年・対象者)	期間
和歌山研究林(2)		
「森とあそぶまなぶ」森林体験学習	有田川町産業課(小学4年生)	10.09.17 - 10.10.15
少人数セミナー:森の作り出すもの	京都大学(全学1回生)	10.09.27 - 10.09.29
職業体験学習	有田川町立八幡中学校(2年生)	10.09.28 - 10.09.30
緑地環境科学実験実習Ⅱ	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科(3年生)	10.10.27
総合的な学習の時間「森を守ろう」環境	有田川町立八幡小学校(5年生)	10.11.11

上賀茂試験地

平成22年度 農学部森林科学科ガイダンス	京都大学農学部森林科学科(1回生)	10.04.10
庭園実習Ⅰ・Ⅱ	京都造形芸術大学環境デザイン学科(3回生)	10.05.12 - 10.12.01
農学研究科森林科学専攻 新入生向けガイダンス	京都大学農学研究科森林科学専攻	10.05.15
生物学実習「野外調査法ー昆虫の密度推定法」	京都大学理学部生物科学科(3回生)	10.05.17 - 10.05.25
森林総合実習及び調査法	京都大学農学部森林科学科(3回生)	10.05.28 - 10.06.03
少人数セミナー:京をめぐる森と人のくらし	京都大学(全学1回生)	10.05.29
生物学実習B 野外調査法(生態)	京都大学理学部生物科学科(3回生)	10.06.02
森林生物学実験及び実験法	京都大学農学部森林科学科(3回生)	10.06.02 - 10.06.30
少人数セミナー:原生的な森林の働き	京都大学(全学1回生)	10.06.20
「土壌物理学・水環境工学実験」土壌の三相分布測定及び浸入能試験実習	京都大学農学部地域環境工学科(3回生)	10.06.09
森林植物学実習	京都府立大学生命環境学部森林科学科(3回生)	10.07.06
少人数セミナー:木造校舎を造る:木の文化再生へ	京都大学(全学1回生)	10.07.06
洛北高校スーパーサイエンス研究室訪問	京都府立洛北高校	10.07.29
子供たちを対象とした昆虫観察会およびセミナー	京都市立小学校・中学校(5・6年生、中学生)	10.08.01
里山再生論	京都大学地球環境学舎(修士課程1・2回生)	10.08.31
公開森林実習	人間環境大学、京都学園大学(1・2回生)	10.09.06
栽培実習Ⅱおよび栽培と飼育の実践Ⅱ	京都教育大学教育学部産業技術科学科(1~4回生)	10.09.30
森林科学実習Ⅳ	京都大学農学部森林科学科(2回生)	10.10.19
ネイチャーゲーム講習会	京都精華大学	10.11.11 - 10.11.13

科 目 名	学 科 等 (学 年・対象者)	期 間
徳山試験地		
「みどりの案内人養成プロジェクト」特別講座	周南市民	10.06.13 - 10.12.12
少人数セミナー:瀬戸内海に見る森里海連環	京都大学(全学1回生)	10.08.06 - 10.08.10
周南市環境学習教室「森林とふれあい自分だけのオリジナル図鑑を作ってみよう」	周南市内小学生	10.10.15 - 10.10.23

北白川試験地

有機化学実験および実験法	京都大学農学研究科食品生物科学専攻(3回生)	10.04.09
「土壌物理学・水環境工学実験」採土方法の習得と土壌の三相分布測定	京都大学農学研究科地域環境科学専攻(3回生)	10.04.21
有機化学実験および実験法	京都大学農学研究科応用生命科学専攻化学生態学分野(3回生)	10.06.04
公開森林実習	全国の大学生	10.09.08
森林水文学・砂防学実験及び実験法	京都大学農学研究科森林科学科(3回生)	10.10.04
生物有機化学Ⅲ	京都大学農学研究科応用生命科学専攻化学生態学分野(3回生)	10.11.17
集中セミナー	大阪府立大手前高校	10.12.10

会 議

○ 平成 22 年度事業委員会

・平成 22 年 7 月 13 日（火） 13：00～17：30

議 題

1. 平成 21 年度決算報告について
2. 平成 22 年度事業計画の執行状況について
3. 平成 23 年度事業計画の協議事項について
4. その他

報告事項

1. 全国大学演習林協議会（春季）について
2. 技術職員研修の中国四国地区との共催への変更
3. 教育関係共同利用拠点申請結果について
4. 公開森林実習の実施について
5. 森林環境情報学分野の准教授の公募について

プロジェクト研究報告（第 I 期の報告）

1. 生態系プロジェクトの報告
2. 環境系プロジェクトの報告

・平成 23 年 1 月 19 日（水） 13：00～17：00

議 題

1. 平成 23 年度事業計画について
2. 森林里域フィールド管理部門からの追加配当について
3. 平成 23 年度事業委員会の委員長選出について
4. その他

要望事項

1. データ使用検討委員会の体制構築

報告事項

1. 全国大学演習林協議会（秋季）について
2. 教育関係共同利用拠点について
3. 公開森林実習について
4. 平成 23 年 4 月 1 日付け技術職員の異動について
5. 天然林・人工林手入れの洗いだし作業について
6. その他

○ 森林系技術班長会議

・平成 22 年 7 月 13 日（火） 10：00～12：00

議 題

1. 各研究林・試験地の業務執行上の問題点について
2. その他

・平成 23 年 1 月 20 日（木） 9：00～12：00

議 題

1. 各研究林・試験地の業務執行上の問題点について
2. 利用申請の変更について
3. 研究林・試験地情報 2010 年度について
4. その他

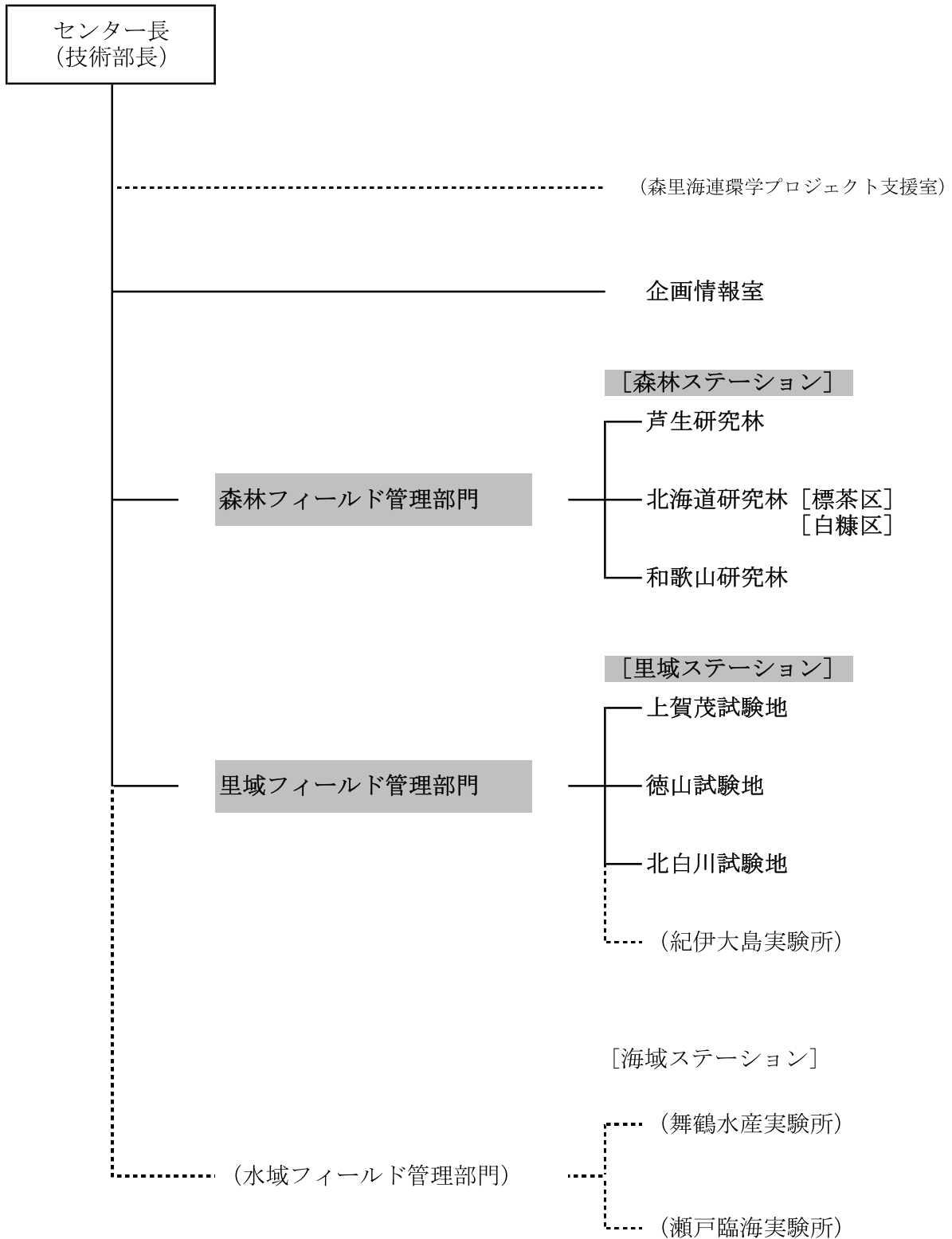
免許・資格等の取得者

免許・資格等の種類	取得年月	所属	人数
刈払機作業安全衛生教育	平成22年10月	上賀茂試験地	1名
小型車両系建設機械（整地等3t未満）	平成22年11月	上賀茂試験地	1名
伐木等の業務特別教育	平成22年11月	上賀茂試験地	1名
玉掛け技能講習	平成22年11月	上賀茂試験地	1名
振動工具取扱作業教育講習	平成22年11月	芦生研究林	5名
車両系建設機械（整地等）	平成23年 3月	上賀茂試験地	1名
小型移動式クレーン	平成23年 3月	北海道研究林	2名
大型特殊自動車	平成23年 3月	北海道研究林	1名
高所作業車運転	平成23年 3月	北白川試験地	2名

安全衛生に関する講習会等

講習会等名	講習年月	所属	人数
安全運転管理者講習	平成22年 6月	北海道研究林	1名
	平成22年10月	芦生研究林	1名
	平成22年10月	和歌山研究林	1名
危険物取扱者保安講習	平成22年 6月	北海道研究林	1名
	平成22年10月	和歌山研究林	1名
	平成23年 1月	芦生研究林	2名

管理技術部組織図



技術職員配置表 ※ 森林系技術職員の配置表

区 分	平成23年3月31日現在	平成22年度中の異動
芦 生 研 究 林	技術班長 藤 井 弘 明 技術主任 浅 野 善 和 技術職員 太 田 健 一 技術職員 荒 井 亮 技術職員 長谷川 敦史 技術職員 小 嶋 宏 和 技術職員 西 岡 裕 平 技術職員 大 牧 治 夫	再雇用職員
北海道研究林（標茶区） （白糠区）	技術班長 佐 藤 修 一 技術主任 岡 部 芳 彦 技術職員 勝 山 智 憲 技術職員 林 大 輔 技術職員 吉 岡 步 技術主任 柳 本 順 技術職員 古 田 卓	平成22年4月1日付けで技術専門員となる 平成22年4月1日付けで上賀茂試験地より
森林フィールド管理部門	技 術 長 山 内 隆 之	平成22年4月1日付けで北白川試験地より
和 歌 山 研 究 林	技術班長 長谷川 孝 技術主任 上 西 久 哉 技術主任 平 井 岳 志 技術主任 細 見 純 嗣 技術職員 中 川 智 之	
上 賀 茂 試 験 地	技術班長 柴 田 泰 征 技術主任 大 橋 健 太 技術職員 黒 田 眞 人 技術職員 奥 田 賢 技術職員 安 藤 公	平成22年10月1日付けで新規採用となる
徳 山 試 験 地	技術班長 秋 田 豊 技術職員 伊 藤 雅 敏	
北 白 川 試 験 地	技術主任 紺 野 絡	
里域フィールド管理部門	技 術 長 境 慎 二 朗	平成22年10月1日付けで上賀茂試験地より
企 画 情 報 室	技術主任 柳 直 文	